

# 中川接骨院だより

2024年 8月1日発行 第234号

## 女性のほうがアルコール依存症になりやすい？



男性と女性、どちらがアルコールに弱いのでしょうか。これには個人差がありますが、一般的には女性のほうがアルコールの影響を受けやすいと言われています。

というのは、女性ホルモンには、アルコールを分解するアルコール脱水素酵素の作用を抑える働きがあるからです。言い換えると、女性ホルモンが多いと、少しの量でもすぐに酔ってしまうということであり、生理学的にはアルコールに弱いということが言えます。

月経前など女性ホルモンの分泌が高まるときにアルコールを飲むと、ほかの時期よりもさらにアルコールの分解が抑えられるので、いつもよりも少しの量でも良いが深くなります。



また、閉経期の女性や、卵巣や子宮の摘出手術を受けた女性は、女性ホルモンの分泌が減るので、アルコールの分解がよくなり、お酒が強くなる人が多いそうです。

アルコール依存症になるまでの飲酒期間も、やはり女性のほうが短く、週に四日以上、一日に日本酒なら五合、ウイスキーならダブルで五杯、ビールなら大ビンなら六本

以上を飲み続けた場合、男性で20年、女性は10年でアルコール依存症になる可能性があると言われています。

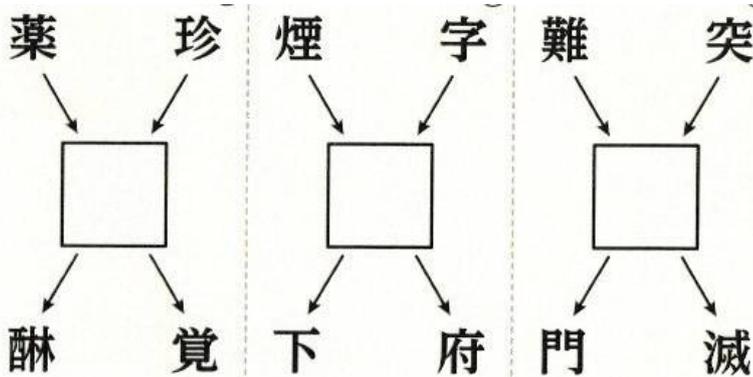
男性に比べてアルコールの影響を受けやすい女性が飲酒を習慣にしてしまうと、アルコール依存症になりやすいのです。

キッチンドリンクカーいわれる主婦たちの存在が、社会問題になったことがあります。日常の倦怠、疲労、育児、嫁姑などの問題を抱え、それらからの逃避として飲酒を始め、それが習慣化して、大量の飲酒になっていくのです。ほとんどのケースが、最初は隠れて飲んでいて、家族に知られたときには、かなり進んだ依存状態に陥っていることが多いようです。

男性もちろんですが、女性はとくにお酒との付き合い方に要注意ですね。

『人体の不思議』 博学こだわり倶楽部から引用

## 矢印の方向に読むと熟語になります



漢字一字を入れてください

読み方も大切です

答え



## 当院での症例 左第二中足骨基部骨折

### 【問診】

高岡市在中 80歳 女性

### 【問診】

自宅の玄関で、足元をつまづき転倒した際に左足首を捻り負傷

### 【検査・テスト】

第二中足骨基部の限局性圧痛と腫脹、皮下溢血、運動制限、受傷発生機転から骨折の疑いがあり、病院でレントゲン検査を依頼する。

医師より骨折と診断され医師の同意を得て施術する。

### 【施術】

骨折転移が少なかったため、遠位骨を末梢方向へ牽引し短縮転移を除去し、足裏のアーチを保つために、足板版を装着レナサーモギプス固定を施す

約30日経過良好にて治癒



### 【考察】

この部分を骨折しても歩ける事も多く「足首を捻った」いわゆる捻挫と同じ形で受傷するので、捻挫と思われがちです。多くの場合は、骨折部の転位（ズレ）が少ないかあるいは亀裂骨折（いわゆるヒビ）であるため、実際に手術の対象となる場合はまれです。

## 接骨院での治療の利点(手術を伴わない骨折)

☆入院しなくても治療可能 ☆毎日、経過の観察が出来る(インフォームド Consent)

☆親切、丁寧、治療費が病院に比べビックリするほど格段に安い。

(具体的な治療法と負担金額などはお尋ねください)

早期の治療は関節を元の状態に戻し、後遺症を残さないためにも重要です。

急性の外傷、疲労等による腰痛、肩こり、O脚、骨盤矯正にはカイロ治療が効果的です。

カイロ治療は、真の原因をさぐり全身的な治療を施します。

初診料(検査) 2,200円

治療料 4,400円

回数券 [5回券] 21,000円

回数券 [10回券] 36,000円

回数券は家族の方もご使用できます。 但し初診料(検査) 2,200円は別途必要です

### 編集後記

先日、私が所属している富山県柔道整復師会主催の学術研修会に出席しました。特別講演では富山大学学術研究部の西丸広史教授が「心と体の動きの神経メカニズムの研究」と題した講演が行われました。様々な感覚情報がどのように脳のなかで処理されて情動が生まれ、それに基づいた行動をとるのかという研究を成されています。特に印象に残ったことは、痛みの情報処理の過程についてです。末端の情報(皮膚・関節・筋肉)は脊髄を通り脳内の感覚野で処理された後に負傷した箇所に情報が戻ります。痛み刺激は敏感な人と弱い(鈍い)人と其々で、過去の経験や記憶、視覚、聴覚が影響されます。昔から「病は気から」と言う"ことわざ"があるように自身の気持ちも大きく左右されると思います。患者さんに安心と信頼を与えられるように勉強して日々努力しなければならないと感じました。....^^)

### 診療時間の案内

平日 午前8時30分～午後12時00分 午後3時00分頃～午後7時

土曜日 午前8時30分～午後12時00分 日曜・祝日は休診 受付は終了30分前

